

# 順天堂医院ニュース 2019 NO.68

## 入院支援センター開設のお知らせ

入院治療をされる患者さんが安心して入院生活を送り、退院後の療養生活を不安なく過ごしていただけるように支援するため、2019年5月7日よりB棟2階に入院支援センターを開設いたしました。

予約入院となる患者さんに対して、入院の申し込みと説明、および看護師がお話を伺うことにより患者さんの状態を把握し、入院に対する不安の解消を目指します。入院前の支援と術前外来では、医師・薬剤師・看護師・

管理栄養士・医療ソーシャルワーカー・事務職員などの多職種が連携し、切れ目のない体制で支援していきます。また、入院前から目標とする退院後の生活を見据えて療養環境を整え、退院後も不安なく過ごしていただけるよう支援いたします。さらに、病棟看護師とも連携をとり、患者さん一人ひとりにあった入院治療および看護が提供できるよう努めてまいります。

開設時間は毎週 月曜日～土曜日（祝祭日・休診日を除く）  
9時00分～17時00分です。

（上記時間以外の入院申し込みはB棟1階、時間内の緊急入院の申し込み手続きは1号館1階で行います）

### 【予約入院の患者さんの流れ】

1

・【患者さん】外来で入院申込書を受け取り、入院支援センター窓口へお越しください。

2

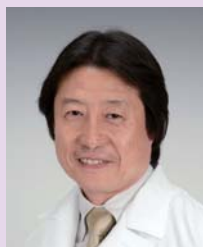
・【事務職員】入院申し込み手続き、入院費用など入院オリエンテーションを行います。全身麻酔による手術を予定している患者さんは、麻酔科医師の診察や口腔ケアの案内をいたします。

3

・【看護師】面談により患者さんの日常生活の状況、利用されている医療・福祉・介護サービスなどを確認し、入院病棟へ引継ぎします。

4

・【薬剤師、栄養士、医療ソーシャルワーカー、退院支援専門チームなど】必要に応じて面談します。



センター長  
膠原病・リウマチ内科教授  
山路 健



看護師長  
宮本 千恵美



## 新任教授紹介

## 膠原病・リウマチ内科

この度、2019年4月1日付で膠原病・リウマチ内科の教授を拝命いたしました。

膠原病・リウマチ内科と言いましても聞きなれない方も多いとは思いますが、当科が診療を行っている膠原病・リウマチ性疾患には関節リウマチをはじめとして、全身性エリテマトーデス、シェーグレン症候群、強皮症、多発性筋炎・皮膚筋炎、混合性結合織病、血管炎症候群など多くの疾患が含まれます。症

状としては全身の筋肉や骨関節の痛み、皮疹、手指・足趾の冷え、ドライアイ、ドライマウス、口内炎、脱毛など多彩な症状を呈します。また、脳や甲状腺、肺、肝臓、腎臓、腸など全身の様々な臓器に障害を来す可能性がある病気です。

いわゆる『難病』という特定疾患に指定されている疾患や病態もありますが、近年、診断や治療が飛躍的に進歩して治療経過や予後が非常に良くなっています。早いうちに診断がついて適切な治療を受けることで病気が治った状態（寛解）になったり、日常生活に全く支障を来さない状態にまで病気が落ち着くことも多くあります。ご心配な症状がございましたら、膠原病・リウマチ内科の専門医をお尋ねください。

また、2017年7月に順天堂医院1号館2階に開設いたしました東京都難病相談・支援センターのセンター長を併任しております。当センターは難病患者さんに「寄り添い支え、ともに闘う」支援事業に取り組んでいます。日常生活や療養生活、就労に関する悩みや疑問について看護師やソーシャルワーカーなどの難病相談支援員にご相談いただけます。様々な疾患についての専門医による相談会や講演会も開催しております。不安や疑問、お困りのことを解消するお手伝いができると思います。

膠原病・リウマチ内科、そして東京都難病相談・支援センターをどうぞよろしく願いいたします。



膠原病・リウマチ内科  
山路 健

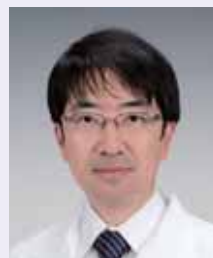


順天堂医院 HP  
【膠原病・リウマチ内科】

## 新任教授紹介

食道・胃外科

2019年4月1日付で食道・胃外科の教授を拝命いたしました。食道・胃外科という科は名前の通り、食道と胃に発生する疾患を対象にしており、悪性疾患、つまり食道がんおよび胃がんの手術治療を得意としています。また最近日本でも少しずつ増えてきている食道胃接合部がんの治療にも力を入れています。特に食道がんに関しては当科は日本でも有数のハイボリュームセンターであります。



食道・胃外科  
峯 真司

食道がん、胃がん、食道胃接合部がんに対する手術治療は、いずれも体に対する負担の大きな手術になります。そのため体に対する負担の少ない鏡視下手術を当科でも積極的に取り入れています。また外科手術だけにとらわれず一人一人の患者さんに対して最も適切と思われる治療を提供していきます。どうぞよろしく  
お願いいたします。



順天堂医院 HP  
【食道・胃外科】

# 術前外来開設

2019年5月7日、順天堂医院B棟2階に術前外来をオープンしました。術前外来では予定手術を受ける患者さんを対象に、およそ1時間から1時間半かけて麻酔科医や、歯科医、歯科衛生士、薬剤師、看護師からなるチームが診察や面談をいたします。麻酔科医は診察や検査により患者さんの全身状態を把握し、術前や術後の注意点や麻酔計画について説明します。歯科医や歯科衛生士は抜けそうな歯について診察し、マウスピース作成など術前の歯科治療について提案をいたします。薬剤師は「おくすり手帳」などから服用しているお薬やサプリメントなどの使用状況を把握し、手術前・後のお薬の中止や継続、再開などについて提案します。そして看護師は褥瘡ができないか、十分に関節が動くかなどについての確認を行います。患者さんの理解を助ける麻酔に関するDVDやパンフレットを使用して、手術室の説明をします。現在、消化器外科、整形外科、泌尿器科、形成外科、乳腺センターなど、一部の診療科の患者さんのみを対象としておりますが、診療する患者さんの診療科は今後広げていく予定です。患者さんが安心して安全に手術を受けられるよう、術前外来チームが強力にサポートいたします。

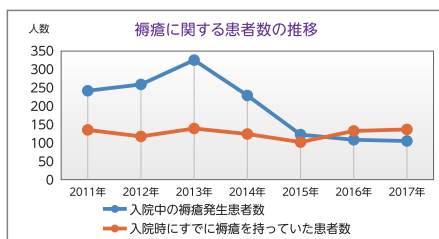


## 看護部ニュース

### 褥瘡の予防について

褥瘡（じょくそう）は、寝返りができず、体重によって一定の場所が持続的に圧迫されることで生じる皮膚損傷です。患者さんの療養生活に大きな悪影響を及ぼすため予防が非常に重要です。順天堂医院では、褥瘡に関して専門的な看護技術を有する皮膚・排泄ケア認定看護師が在籍し、褥瘡予防に関する取り組みと褥瘡発生時の早期治癒を図っており、グラフに示すように入院中に新たに発生する褥瘡は年々減少傾向です。

しかし近年では、入院時にすでに褥瘡を保有している患者さんが増えており、昨年度は年間で155名にもなっています。褥瘡をもつ患者さんの多くは、高齢による皮膚の脆弱性に加え、寝たきりの状態で長時間皮膚が圧迫されたことが原因になっています。予防のコツとしては、ベッドでは2時間毎を目安に体の向きを変える、車いすでは20分毎に座りなおすことがとても重要です。また介護用品として褥瘡予防用のベッドやクッションも効果的です。院内には褥瘡対策チームが設置されており、専任の看護師が患者さん・ご家族へ褥瘡予防に関する生活指導なども行なっておりますので、いつでもご相談ください。



順天堂医院 HP  
【看護部】

皮膚・排泄ケア認定看護師 横山友美

## 放射線部ニュース

### 冠動脈（心臓）CT（Computed Tomography）検査とは

心臓には筋肉（心筋）に酸素を運ぶ冠動脈という血管があります。この冠動脈が何らかの原因より細くなることで、心筋に酸素が充分行き渡らなくなり、虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）になります。これらの虚血性心疾患の評価を、静脈から造影剤を投与して検査できるのが冠動脈（心臓）CT検査です。

心臓は常に動いていますが、CT装置の進歩により心臓の動きに合わせて検査ができるようになりました。

冠動脈（心臓）CT検査は、入室してから約30分で終了し、当院では現在月に約100件と多くの冠動脈（心臓）CT検査を行っています。



順天堂医院 HP  
【放射線部】



## 臨床検査部ニュース

### 心電図検査について

心臓は収縮と拡張をくり返すことで、全身へ血液を送るポンプ機能を担っています。心臓のポンプ機能は、電気的活動によって調節されています。

心電図検査は心臓が発している微弱な電気信号を記録し、波形で示します。心電図検査によって、不整脈、心筋梗塞や狭心症などの異常の有無がわかります。

一般的な心電図検査は標準12誘導検査で、健康診断などで広く行われています。仰向けに寝た状態で両手首、両足首と胸に合計10本の電極を付けます。検査時間は約5分で、痛みはありません。患者さん自身の心臓から発せられる電気信号を記録する検査です。機器から電気が流れることはなく、安心して受けてください。



順天堂医院 HP  
【臨床検査部】

## 医療福祉相談室ニュース

当室では「退院支援」や「制度」などのご相談をお受けしています。

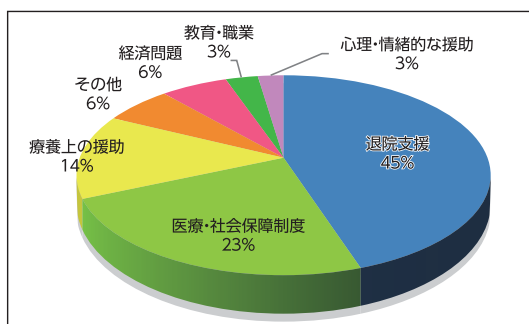


図1 ≪2018年度 相談内容別件数 1,464件の内訳≫

昨年度当室で新しく受けた相談内容別件数は、1,464件（図1）、延べ取り扱い回数は41,559回でした。相談件数は年々増加しており、昨年度に比べて約20%増加しました。相談件数の多い順に、**退院支援**（リハビリテーション病院や療養型病院への転院や介護施設への入所、在宅医療や訪問看護の利用等）のご相談や、**医療・社会保障制度の活用**（医療費や生活費の心配や、福祉サービスの利用等）のご相談などがあります。

当院にはいくつかの相談部門がありますが、「医療福祉相談室」では、治療・療養生活に伴って生じるさまざまな心配事に対して、ソーシャルワーカーが患者さんやご家族と一緒に、医療・社会保障制度や福祉サービスを活用しながらご相談に応じています。当室でのご相談を希望される場合は、事前にご予約をお願いいたします。

なお、退院支援に関しては、「患者・看護相談室」とともにご相談に応じており、退院後の療養生活についてのご相談を希望される方は、適切な部署でお手伝いができるように、まずは入院されている病棟の看護師にその旨お声かけください。

**医療サービス支援センター 医療福祉相談室 直通TEL: 03-5802-1207**



順天堂医院 HP  
【医療福祉相談室】

## 薬剤部ニュース

### 病棟チームについて

病棟チームでは、入院患者さんが安全な薬物療法を受けられるようチーム医療の推進を目的に医療スタッフや患者さんへの情報提供、薬剤の管理を行っています。

入院時に普段使用している薬やサプリメント、アレルギーや副作用歴などを患者さんに確認し、入院中に最適な治療を行えるように医師や看護師等と情報共有しています。

入院中の患者さんに適切で安全に薬剤が使用されているか、処方せんや電子カルテで確認しています。がん化学療法や、手術などで使用薬剤が大きく変わる場合には直接説明に伺うことがあります。

また、退院後に正しく薬を服用して頂けるよう、患者さん本人やご家族に薬効や服用方法などの説明を行っています。心配な点やわからない点があれば、お気軽に薬剤師へご相談ください。



順天堂医院 HP  
【薬剤部】

## 栄養部ニュース

### 美味しく安全に。～食中毒を防ごう～

『食中毒』と聞くと多くは飲食店などの集団調理で発生すると思われがちですが、東京都の調査によると家庭の食事でも発生しています。気温や湿度が高い時期だけではなく、一年を通して発生します。代表的な症状として、腹痛、下痢、嘔吐や発熱がみられ、抵抗力の弱い方が重症化しやすく、消化器官や免疫力の未発達な乳幼児・高齢者は特に気を付ける必要があります。過労や睡眠不足などで体力低下している方も注意が必要です。

家庭における食中毒の予防法は、「つけない、増やさない、やっつける」です。「調理や食事前後の手洗い」「食品温度の管理」「調理器具等を清潔に保つ」「食材を中心まで加熱する」など、調理・食事の際に気をつけることで食中毒を予防しましょう。



順天堂医院 HP  
【栄養部】

# 医療費あと払いクレジットサービス導入について

## 【会計を待たずに帰宅できる！】

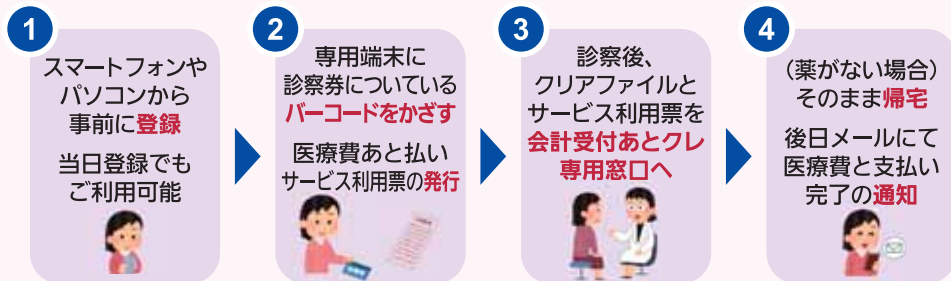
当院は会計待ち時間対策のために、2019年4月より医療費あと払いクレジットサービス（あとクレ）を導入しました。

このサービスの利用により、会計に必要な手続きを減らすことができ、診察終了後、すみやかに帰宅いただけます。

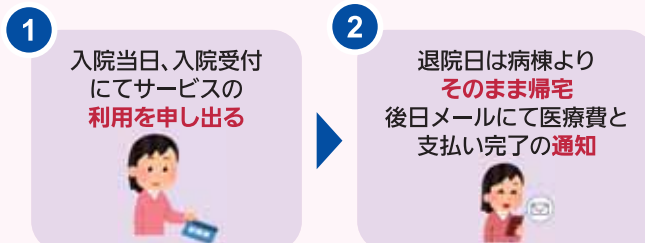
登録は初回のみ、ご自分のスマートフォンやパソコンからメールアドレスや診察券番号、お持ちのクレジットカード番号等の利用者情報を登録するだけで入院・外来で利用可能となります。サービス手数料も無料です。一度登録を済ませるとその後は現金払いはもちろん、クレジットカードの持参も不要なため、高齢者やお子様も身軽に受診ができ、ご家族の負担も軽くなります。

外来患者さんは来院時に利用受付機で利用票を発行し、診察終了後は、専用窓口へクリアファイルと利用票を提出するだけで帰宅できます（薬がない場合）。入院患者さんは入院当日に窓口でお申し出いただくと、退院当日は病棟からそのまま帰宅できます。

### 利用の流れ（外来）



### 利用の流れ（入院）



医療費あと払いクレジットサービス（あとクレ）をご利用いただくには、事前に本サービスへの利用登録が必要です。下記QRコードまたはURLよりWEB上で利用者登録を行ってください。(利用料無料)

登録サイトのURL : <https://medicalpay.jp/juntendo/>





今日から  
はじめる



## 健康講座

Column vol.09  
熱中症とその予防

総合診療科 教授  
小林 弘幸



いよいよ夏本番。猛暑日が続く中で、気をつけたいのが熱中症です。めまい、立ちくらみなど、軽度の熱中症を経験したことのある方も多いのではないのでしょうか。熱中症は、症状が重くなるにつれて筋肉痛や頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、意識障害、肝機能障害などがみられ、最悪の場合死に至ることもあるので、しっかりと予防することが大切です。

私たちの身体には体温調節機能が備わっているため、体温が上がり過ぎた時には自律神経の働きによって末梢血管が拡張し、指先まで多くの血液を送り込むことで皮膚表面から熱を発散させます。また、同時に汗をかき、汗が蒸発する際に皮膚表面の熱を奪うことで体温を下げます。しかし、あまりにも暑い環境下に長時間いると、この体温調節機能が乱れて体温が上昇します。

熱中症を予防するために、まずはのどが渇く前にこまめに水分補給をすることが大切です。1度に多量の水を飲むと胃液が薄まり、食欲不振になりかねないので、1回に摂取する水分は200mLまでに抑え、1日に2L程度飲むことが理想です。また、カルシウム、マグネシウム、鉄、亜鉛など、体にとって重要なミネラルも汗と共に失われます。特に、現代人が不足させがちなマグネシウムが発汗によってさらに失われると、神経伝達機能が弱まり、筋痙攣や頭痛、臓器障害などの症状を引き起こしやすくなります。

玄米、雑穀、そば、海藻、大豆、魚介類など、ミネラルが豊富な食材を意識的に摂取し、規則正しい生活をすることで暑い夏を乗り切りましょう。

# 順天堂医院の今昔

## 海水浴と松本良順

夏のレジャー海水浴は、18世紀の中頃、ヨーロッパで健康増進や医療効果を目的として広まった。当時の海水浴は、清涼な空気を吸いながら身体に潮流の刺激を受けるもので、海水に浸かる潮湯治であった。この海水浴を日本に広めた一人に、順天堂の創立者佐藤泰然の次男松本良順がいる。江戸幕末に長崎で西洋医学を学び、医学所(東大の前身)の頭取、第15代将軍の侍医を務め、明治維新後は初代陸軍軍医総監として活躍した西洋医である。

良順は、長崎遊学中にオランダ人教師から海水浴について学び、海に囲まれた日本にはきっと適した地があると考えた。それから10数年後、海水浴がリウマチ、神経病にも効くことを広めながら海水浴の適地を探した。地形、自然環境などから大磯が海水浴に適していると確信し「国民の健康増進と体力の向上をはかるため…」と、その重要性を大磯の人々に熱心に説いた。人々の理解を得て、1885年(明治18年)大磯の海水浴場が開設された。近傍から海水浴客が集まり、翌年には東京からも100人以上が来泊した。1887年(明治20年)に鉄道が大磯まで開通すると、年々賑わいを増し大磯は一大都市に発展していった。大磯の照ヶ崎海岸に松本順謝恩碑が建つ。



「禰龍館繁栄の図」  
大磯町郷土資料館蔵  
海に立てられた鉄棒に  
つかまり海水に浸かって  
いる様子が描かれる



松本良順(1832-1907)  
順天堂創設者佐藤泰然の次男

順天堂大学医学部医史学研究室  
特任教授 酒井シヅ

順天堂大学医学部附属順天堂医院  
〒113-8431 文京区本郷3-1-3  
TEL : 03-3813-3111(大代表)

編集 広報管理運営委員会  
発行 事務部 管理課(2019年7月発行)

ホームページ  
<http://www.juntendo.ac.jp/hospital/>

順天堂医院

検索



【順天堂医院 HP】